



なんと言っても 寝屋川やね。

ワガヤネヤガワMAP 寝屋川編

wagayaneyagawa map
nantoittemo walkers





駅前から変わる寝屋川。



駅から
徒歩1分！

New! エスカレーターを上げれば、
5万冊の本がお出迎え。

◎寝屋川市駅前図書館 キヤレル

寝屋川市駅前図書館
キヤレル

専門書から小説、新聞、雑誌など5万冊の蔵書を誇る。1人で集中できる「どくしょボックス」や本の殺菌・消毒ができる機械があったり、本に親しんでもらうための仕掛けがあちこちに。夜9時まで開館しているのもありがたいところ。



New!

豊かな音を奏でる、
新しい寝屋川市のシンボル。

◎寝屋川市立地域交流センター
アルカスホール

STEINWAY & SONSの
ピアノが2台！

New!

新しいメインストリートは、
市民を守る優れもの。

◎駅前大通り「さわやかロード」



駅前から市立中央小学校前まで、寝屋川のシンボルロードが誕生した。ゆったりと幅広い歩道は、自転車レーンもある安心設計。街路樹やベンチがあるなど歩く人にやさしい工夫が加わり、駅前交差点の北東角にはしだれ桜が植樹さ



駅前大通り
「さわやかロード」

れ、緑地もできた。また、大きな特徴は「防災ゾーン」が設けられたこと。災害時には、ベンチはかまどに、椅子はトイレに早変わり。洗浄用水を汲み出すための井戸や太陽光発電を利用した照明も設置されている。

寝屋川市駅から市立中央小学校までを結ぶ約250mの道路。平成23年度に完成し、さらに平成26年度中には八尾枚方線、大阪外環状線まで延伸予定。きれいに、そしてよりいっそう便利になる。



寝屋川市立
地域交流センター
アルカスホール

メインホールはピアノコンサートだけでなく、伝統芸能や講演会などにも対応。その他、レッスンスペースやスタジオも完備されている。ちなみにホール名は寝屋川市の木である桜のローマ字表記(SAKURA)を逆さ読みしたもの。

音の波を表したかのような反響板が、ステージ上で輝くスタインウェイピアノの音色を豊かに響かせる。高い天井からは音が降り注ぎ、音楽に包み込まれるような贅沢な時間を味わえる。平成25年から始まったピアノコンクールでは、世界の超一流メーカーのピアノで演奏できるとあって、定員を大きく超える応募があった。まさに新しい寝屋川のシンボルとして、多くの音がこの場所から奏でられていくに違いない。

neyagawa station's view
新しい駅前風景。



**駅前から世界へ。
関空リムジンバスが
運行開始！**

寝屋川市駅東側のロータリーに、関西国際空港行きのリムジンバスが平成22年から仲間入り。これまでは市内から直通のルートはなかったため、市民にとっては待望のデビューだった。飛行機のイラストが入った車体を見かけた人も多いだろう。早朝6時台から夜の7時台まで1日8便、空港までを1時間強で結ぶ。



**寝屋川生まれの
現役力士が
「ふるさと大使」に就任。**

駅前に春を告げる風物詩の一つが、大相撲春場所の時期に掲げられる境川部屋の力士の名前が入ったのぼり。場所中は市内に稽古場が設けられ、寝屋川市出身の豪栄道関が市の行事やイベントに登場することも。平成25年、豪栄道関が「寝屋川市ふるさと大使」に就任。いっそう地元とのつながりが深まりそうだ。



**元気な学生たちが引っ張る、
音楽とダンスと映像の祭典。**
◎新天地 in NEYAGAWA

摂南大学を始め市内の大学に通う学生たちが「自分たちが生活するまちの魅力を知り、もっと盛り上げていきたい」という思いで始めた新天地「NEYAGAWA」。地元団体も参加するライブ演奏やダンスに加えて、摂南大学エコシビル部による寝屋川せせらぎ公園での川くだりや、大阪電気通信大学ILAMS(先端マルチメディア共同研究所)による駅前のビルに映像を投影するプロジェクト、マッピング、大阪府立大学工業高等専門学校福祉科学研究会によるロボット実演など、学生ならではのプログラムで楽しませてくれる。ゆるキャラも登場し、平成25年は寝屋川市のはちかつきちゃんだけでなく、近隣のゆるキャラも参加。年々にぎわいを増すイベントだ。



新天地 in NEYAGAWA

平成17年から寝屋川市駅周辺の公園や商店街を舞台に、毎年10月に開催されている。寝屋川市国際交流協会の青年部などの学生が主体となり、地元の大人たちも運営に参加する。大学と地域が一体となった取組だ。



**寝屋川ほのぼのキッズ&
グランパージャズコンベンション**

前回は大利神社のほか、寝屋川市駅前広場や八坂神社など周辺の計7か所がステージに。地元出身のアーティストが登場したり、地域に古くから伝わる民話を表現した楽曲の演奏があったりと寝屋川色の濃さも地元の人から評判。

市制60周年を迎えた平成23年から市民参加型の催しとして毎年秋に行われているジャズイベント。駅前広場や商店街など、まちがステージになるのが特徴で、前回は2つの神社の境内でも演奏された。イベントの立役者であるNPO法人京街道魅力づくりの理事の中山啓子さんと大利町自治会



**大人も子どもも集まれる、
まちの新しい使い方。**
◎寝屋川ほのぼのキッズ&
グランパージャズコンベンション

**食べて学んで、
新しい「いきつけ」を発見！**
◎ねや川バル&ねや川ゼミ



1枚でドリンク1杯&料理1皿がいただけるチケット5枚セットを購入し、お得な食べ歩きができる「ねや川バル」。平成24年の秋にスタートし、地元の飲食店の店主たちが中心となり行われている。その一人で事務局長の岡本修太郎さん(写真右)は、「ねや川バルでひと月

の集客人数が20倍に増えたお店もあります。名店はあるんですが、料理の味に一生懸命で宣伝ベタな店主さんが多くて(笑)。いい機会を得ました」。前回からは、飲食店以外の商店が専門性をいかした講座を開催する「ねや川ゼミ」も始まり、充実度はどんどん高まりそうです。



**ねや川バル&
ねや川ゼミ**

「回を増すごとに参加店舗・参加者数も増えていて、盛り上がっています。当日は、市外からもお客さんが来てお祭りムードです」と、実行委員の郡博茂さん(写真左)。平成26年は5月24日と10月25日に開催予定。



あ る 水 と 緑。



用水路の歴史的価値を伝える。

茨田樋遺跡水辺公園

淀川左岸の用水樋門で唯一、遺構が残存する「茨田樋」。その歴史を残してほしいという点野地区の住民の声により、公園として整備された。工事は住民や市立点野小学校の児童も協力して行われ、3年がかりで完成。用水路がかつては地域の人々のコミュニケーションのための場所であった面影を伝えている。



寝屋川のきれいな川を守れ！ クリーンリバー寝屋川作戦

水辺が身近になるにつれて、安心して親しむために何かしたいという市民の声が寄せられるように。そこで始まったのが「クリーンリバー寝屋川作戦」。毎年春と秋に川の清掃活動を行っている。ボランティア参加の募集も受け付けており、詳しくは寝屋川市水・みどり室まで。T.072-824-1181(代表)



まちの至るところ に「水辺」がある。



駅からすぐのところにも。

寝屋川せせらぎ公園

寝屋川市駅のすぐ西側にあり、遊歩道やウッドデッキ、船着場が整備され、地元イベントの会場になることもしばしば(P7)。魚の住み着きやすいすき間のある護岸など、水に親しむためのあらゆる工夫が施されている光景は、寝屋川のまちと川や水の距離の近さを物語っている。

水辺の生きものに親しめる。

幸町公園

もともとは大阪府警察寝屋川待機宿舎の中にあった公園を、宿舎の建て替え工事に伴い寝屋川に面した場所に移し、水に親しめる空間として生まれ変わった。公園には遊具や広場が設置され、川にはワンドも造られた。近所の人たちと共に、水辺の生きものたちも集まり始めている。



水と緑と大きな空。

淀川河川公園

淀川河川敷の広大な国営公園。寝屋川市内の木屋元・太間地区には野球場やラグビー場、芝生広場などがあり、スポーツにペットの散歩にと市民の憩いの場になっている。駐車場もあるため、市内のどこから行くにも便利。実は夕陽の隠れた名所でもあり、新寝屋川八景にも選ばれている。



自然な川の姿を残した公園。

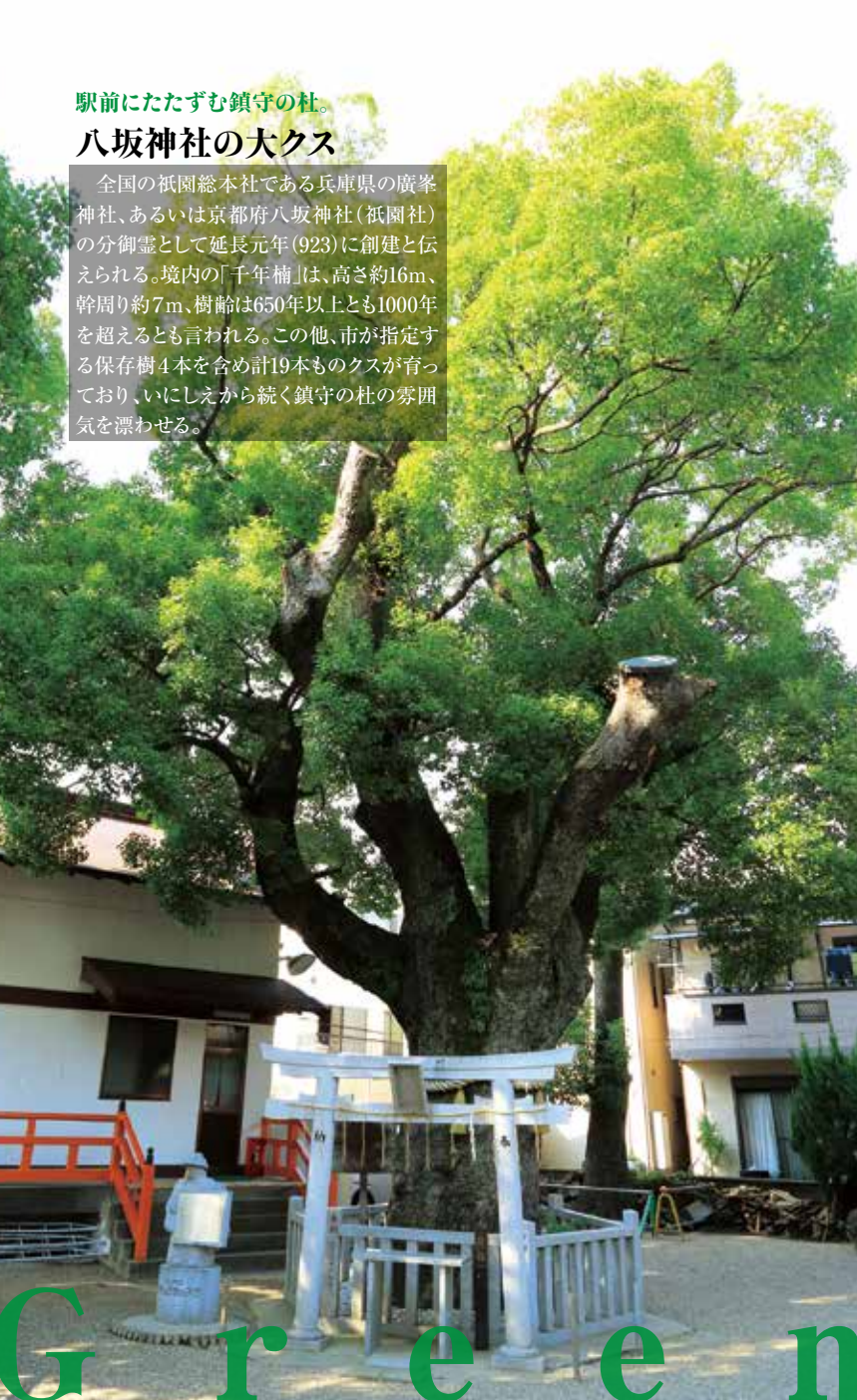
川勝水辺ひろば

平成25年6月オープンした市内3番目の親水空間で、計画段階から地元に住む人たちの声を取り入れ、コンクリートなどを使わずできる限り自然を残して設計されている。川まで下っていくことができるので、夏になると水遊びをする子どもたちの姿もちらほら見かける。寝屋川に加わった新しいスポットだ。

駅前たたずむ鎮守の杜。

八坂神社の大クス

全国の祇園総本社である兵庫県の廣峯神社、あるいは京都府八坂神社(祇園社)の分御霊として延長元年(923)に創建と伝えられる。境内の「千年楠」は、高さ約16m、幹周り約7m、樹齢は650年以上とも1000年を超えるとも言われる。この他、市が指定する保存樹4本を含め計19本ものクスが育っており、いにしえから続く鎮守の杜の雰囲気漂わせる。



Green



生命力みなぎる神社の巨木。

春日神社 しいの杜

春日神社には、社殿の背後に高さ10mを超えるしいの巨木が数本生育している。中でも神社東側の池の端にあるものは、幹が大きく張り出し、その力強さに圧倒される。人の住む場所の近くにしいの巨木が群生することは珍しく、昭和56年(1981)に大阪府の天然記念物に指定された。



散り始めが見頃かも。

幹線水路の桜

国道1号線沿いの大規模な幹線水路沿いには、水路と歩道に枝が大きく張り出すほど立派な桜の並木があり名所として知られる。満開の時期に桜のトンネルをくぐるのもいいが、ここは散り始めもおすすめ。タイミングがあれば桜吹雪と水上一面に浮かぶ花びらを楽しむことも。



貴重な桜のロケーション。

寝屋川市公園墓地

竹林や樹林に囲まれるように広がる墓域エリアと公園からなる。敷地内には桜が約400本植樹されていて、満開のシーズンになると華やいだ雰囲気にお墓参りの人だけでなく、子ども連れのファミリーや春の景色をカメラに収める写真愛好家など毎年大勢の人が花見に訪れる。

桜、芝生、大木…
ぜんぶ地元自慢です。



Sakura

春のウォーキングはここで。

友呂岐緑地

タコの形の巨大すべり台をはじめ、遊具施設も備えた桜木町から萱島駅までを結ぶ3.5kmの緑道。桜のほかたくさん木花が遊歩道に沿って並び、歩けば季節ごとに違う表情を見せてくれる。その素晴らしさから寝屋川市駅前のせせらぎ公園を含めて新寝屋川八景に選ばれている。



満開の桜と自然が調和。

打上川治水緑地

増水時に寝屋川と打上川の両河川の水量を調節するために作られた遊水地。敷地内には大小あわせて1万2000㎡の芝生広場があり、憩いの場として親しまれている。府道18号線の歩道に沿うように桜の木が植えられ、春は芝生にお弁当を広げ、水と緑との共演を楽しむ人にぎわう。



知る人ぞ知る花見スポット。

三井団地の桜並木

昭和40年代、人口の増加を受けて建設された三井団地。その完成と同じ頃に街路樹として植えられた桜は、街と共に大きく成長。今では団地の白壁と桜のピンクのコントラストが映える見事な風景になった。道路の両側に植わった桜のトンネルの通り抜けは隠れた名所だ。

寝屋川市最古の絵画。
西正寺 絹本着色方便法身尊像

寝屋川市指定文化財

人々を救うという本願を表した四十八条の光明を放ち、蓮台の上に立つ阿弥陀如来。手にも「撰取不捨印」を結び、人々を救いへ導こうとする様子を強く印象づける。文亀2年(1502)、本願寺九世の実如から授かったという裏書きから、寝屋川市に残る最古の絵画である(※普段は非公開)。



ご存じ、寝屋川のえべっさん。
住吉神社の「ねや川戎」

神功皇后が巡幸した際、しばし滞在したという逸話に起源を持ち、古くから寝屋川の地を見守り続けてきた。現在も地元の人たちに親しまれ、「寝屋川のえべっさん」こと毎年1月の戎大祭には、多くの人が商売繁盛を願って集まり、その数は毎年10万人を超える。新寝屋川八景にも選ばれている。



寝屋川の宝!

地元の歴史を歩く。

700年前に刻まれた文字。
喜多家墓所五輪塔

寝屋川市指定文化財

池田二丁目の喜多家の屋敷地に隣接する墓所には代々の墓がある。その一角にある石に刻まれた建武2年(1335)の年号は、石造物に残るものとしては市内最古。上に浅い丸穴が空いていることから五輪塔の一部とわかり、村の墓地の中心に建てられた総供養塔と考えられている。



聖徳太子を支えた人物が眠る。
伝・秦河勝の墓

寝屋川市指定文化財

秦河勝は7世紀に聖徳太子に仕えた秦氏の有力者。元は竹林だった場所に遺されていた墓とされる場所では、中央に高さ約2.5mの五輪塔が建てられ、秦河勝の事跡や慶安2年(1649)に再建された経緯などが刻まれている。現在も町名に残る秦氏と寝屋川の密接なつながりがわかる。



細部の美しさに目を見張る。

菅原神社 本殿

寝屋川市指定文化財

元来は大国主命を祀っていたが、江戸時代から菅原道真が祭神となった。簪股には竹に虎、梅に鶯、牡丹などが彫られており、桃山時代の様式にも通じる美しさを誇る。江戸時代前期に建てられた神社建築とされ、現在は社殿の覆屋内にて保存されている(※普段は非公開)。



謎に包まれた古代の骨壺？

長栄寺 蔵骨器

寝屋川市指定文化財

本堂の縁の下に安置されており、昭和14年(1939)に近くの水田から出土した。一辺79cm、高さ30cmに加工され、中央部に正方形の穴がある。火葬骨あるいは骨壺を収めたと推定され、古代寺院との関係が指摘されている。寝屋川の古代史に関わることは間違いない。

電車とともに近代化をとげた寝屋川市駅周辺。尾崎安啓

江戸時代の姿

現在の京阪電車寝屋川市駅周辺は、かつての平池村(早子)・大利村の地域に位置します。

幕末までは米作が盛んでしたが、明治以降は大阪の近郊農村として農家の副業が盛んになってきます。特徴的なのは、大利村の梨栽培です。村内の樋野兼松が大利の土地が梨栽培に適していると考え、山城(京都)から苗木を購入し栽培を始めたのが最初でした。

その後紆余曲折ありましたが、樋野は苦勞の末、明治39年(1906)に梨販売組合を立ち上げ事業を軌道に乗せ、大正4年(1915)には、梨栽培だけで純益2万2407円(今の約2300万円程の価値という、副業としては非常に大きな産業となりました)。

京阪開業と「駅」

明治43年(1910)の京阪電車開業(大阪天満橋―京都・五条間)により寝屋川は次第に変化を遂げるようになります。利用客確保のため大正11年(1922)には大きな総合運動場「京阪グラウンド」を開設しました。このとき運動場開設に先立ち臨時駅として設置された駅が「運動場前駅」でした。

同年11月には常設の駅となりましたが、運動場の利用が伸びず、昭和17年(1942)運動場を閉鎖、跡地は宅地転用され豊野住宅となりました(豊野保育園横に運動場の中心施設だった寝屋川球場跡の碑があります)。これにより昭和18年(1943)1月20日、駅名を「豊野駅」と改称。その後、昭和38年(1963)5月15日に隣の寝屋川市駅(元は寝屋川駅)と統合され豊野駅は姿を消しました。

寝屋川市の誕生

寝屋川市のルーツは昭和18年(1943)4月1日、当時の北河内郡九個荘町・友呂岐村・豊野村・寝屋川村の一町三村を統合した「寝屋川町」にあります。町名は、府知事から命を受けた府社寺課の史蹟調査員平尾兵吾が、すでに京阪電車の寝屋川駅があり、寝屋川高等学校(現・府立寝屋川高等学校)や京阪グラウンドが通称寝屋川グラウンドと呼ばれていたことなどから寝屋川町がふさわしいと進言し、採用されたものです。さらに寝屋川町は、昭和26年(1951)5月3日、市制施行により寝屋川市となりました。

寝屋川の「水」

明治の終わりから大正、昭和にかけて次第に人口が増え、近代的な上水道設備が必要となってきます。寝屋川駅に近い大利地域でも人口が増え、水路の汚染が進み飲料水として適さなくなったため、昭和4年(1929)、区長

の白井幾太郎(後の初代寝屋川市長)が発起人となり、大利上水道組合を組織し、翌年5月の設備完成から給水を始めました。

変貌を遂げる寝屋川市駅前

京阪電車寝屋川市駅前は、昭和61年の寝屋川市駅前再開発、平成14年の高架工事竣工によりほぼ現在の姿になりました。平成23年4月には、アルカスホールが開館、平成25年4月には、キャレル(駅前図書館・市民ギャラリー)も開館しました。駅前は、これら施設の整備により文化を中心とした市民交流の場に変貌しつつあります。

市の玄関口ともいえる寝屋川市駅前は、市民文化の中心となり、活気にあふれた元気都市寝屋川のシンボルとなっています。

ワガヤ
ネヤガワ大学
で行こう！

寝屋川市駅周辺ツアー

ワガヤネヤガワ大学「まち案内人」体験講座の受講生がテーマを決め、コースをつくりました。このページで紹介しているスポットを含むツアーの様子は、寝屋川市ホームページのワガヤネヤガワ大学のページに掲載しています。

篠原RAKU
(モデル)

寝屋川市発行のリーフレットや、これまでのワガヤネヤガワMAPシリーズにも登場。現在、大学2年生。



ワガヤネヤガワ大学とは…

団塊の世代や熟年層の人たちの社会参加を促し、地域デビューのきっかけをつくるため、寝屋川市が平成22年度に開設しました。平成25年度の「まち案内人」体験講座は寝屋川市駅周辺でのフィールドワークを通じて、楽しみながら地域の魅力を発掘し、参加者自らがまち歩きコースをつくりました。講座の最後には受講生が案内人となり、まち歩きツアーも行いました。

※所要時間はめやすです。14

1

ザ・フロント・オブ・ワガヤネヤガワツアー 京阪電車「寝屋川市駅」周辺の今昔

寝屋川市の玄関口である京阪電車の寝屋川市駅。その周辺はここ数年で一気に変貌を遂げている。そんな中にも、活気あふれる商店街や、水辺に親しめる河川敷、まちを見守り鎮座する神社など、変わらない風景も。歴史をたどりながらも、元氣な今のまちの魅力が味わえる。



① 寝屋川市駅

② 市役所サービス処
ねやがわ屋
寝屋川市駅南口1階にある行政サービスコーナー。各種証明書の発行や地元情報の発信などを行うお役立ちスポット。休みは年末年始のみ。

④ 駅前大通り
「さわやかロード」 P.5
広々とした歩道の脇には四季折々の草花が植えられている。シダレザクラの植樹された緑地は休憩スポットにも。



⑥ ベル大利商店街
「ベル大利商店街は自転車マナーの向上に取り組んでおり、平成25年度は、自転車を押して歩いている人に感謝のシールとお買い物券を渡す啓発キャンペーンを行いました」(米芳商店・白井さん)

⑧ 三枚板舟
さんまい だぶね
用水路を行き来し、農具や刈り取った稲を運ぶのに使われた。船底を3枚の板で張っていたことからこう呼ばれる。これはレプリカで、実際は幅1m、長さ8.5mほどあった。



⑧ 三枚板舟



③ 寝屋川市駅前図書館
キャレル P.5
窓際にある「スカイキャレル」は、駅前の風景を眺めながら読書に浸れる特等席。のんびり過ごせそう。



② 市役所サービス処
ねやがわ屋
寝屋川市駅南口1階にある行政サービスコーナー。各種証明書の発行や地元情報の発信などを行うお役立ちスポット。休みは年末年始のみ。



⑤ 寝屋川せせらぎ公園 P.9
川沿いは公園になっており、ウッドデッキや船着場も。水にふれあえる寝屋川の魅力歩いて体感できる。



⑨ 伏越樋
ふせこし ひ
サイフォンの原理を応用し、川の下を潜って用水を送るもの。寝屋川の西に流れる二十箇用水路から東側の木田地区に水を引き込むために使われていた。

GOAL
寝屋川市駅
5分

2

寝屋川トライアングル 健康とおいしいパワースポット巡り

寝屋川市駅は3つの神社に囲まれており、それを結べば三角形になる。このトライアングルエリア内には、商店街や美味しい食べ物、緑豊かなウォーキングコースが詰まっていて、元氣な人たちが集まってくる。これもきっと神社のご利益。足で、目で、耳で、口でそれを実感してみよう。



① 寝屋川市駅



⑤ 大利神社



⑤ 大利神社

創建年は不明ながら、古くから農家の五穀豊年を祈る大蔵神を祀っていた。江戸時代に菅原道真も祀るようになり、そのため境内には牛の像が。学業成就のご利益が期待できる！

⑥ 友呂岐緑地
P.10

⑦ 八坂神社 P.11

境内には樹齢1000年とも言われる大クスの生命力がみなぎる。寝屋川屈指のパワースポット。他にも参道の奥には七福神像もあって、お参りのしがいがある。



⑦ 八坂神社 P.11



② 住吉神社 P.12
北側の入口そばでは、大きなえびすの像が笑顔でお出迎え。寝屋川で商売繁盛の神さまと言えばここ。毎年1月の戎大祭を始め、夏や秋のお祭りも多くの人でにぎわう。

③ 三枚板舟
④ ベル大利商店街



「寝屋川市の地域通寶『げんき』」発祥の地。入手方法はボランティア活動を行うこと。通寶は寝屋川市内の商店街などで使うことができます。【円広志さんが歌う商店街の歌「ふれあいのまち」も流れています】(ベル大利商店街理事長 清水さん)

④ ベル大利商店街



⑧ アルカスホール P.4
三角形がモチーフの個性的な外観。観客や演奏者の熱気が宿る音楽ホールもパワースポットになるかも。

⑨ 寝屋川市駅前図書館
キャレル P.5
GOAL
寝屋川市駅

15 なんとと言っても寝屋川やね。

